

## 【はじめに】

### 蒲郡の子どもたちから学ぶ



蒲郡市教育委員会教育長 壁 谷 幹 朗

本年度の「地域安全・青少年健全育成市民大会」は、苦渋の決断でしたが、中止とさせていただきます。しかしながら、事務局の皆さんのご尽力で、昨年度同様、ステージ発表の代わりにテレビカメラの前での発表、収録となりました。

私は、子どもたちの頑張る姿をぜひ見たくて、初めてその意見発表撮影会の場に参加させていただきました。当日は、小学生2名、中学生7名、高校生3名の合計12名の代表の皆さんの素晴らしい発表に大きな感動を覚えました。

これは、この日発表してくれた蒲郡中学校3年の小林美陽さんが綴った、「視点を変えて見えたもの」の一節です。

—〈略〉— そこで、私は、コロナ禍のこの1年をふり返り、不満をリストアップしてみました。  
—〈略〉— 書いているうちに、今までずっとこらえてきたつらい気持ちや悲しい気持ちが溢れてきました。しかし、私は気を取り直して、前向きな視点でリストを見つめ直してみました。

- ・臨時休校により、勉強に打ち込むことができた。英語が好きになり、英語を話したいという夢ができた。
- ・マスク生活により、相手の目を見て話すようになった。相手の気持ちをくみ取ろうと心がけるようになった。
- ・行事の中止や変更は、日常の大切さや学校のありがたさを感じる事ができた。 —〈略〉—  
すべての物事には、良い面と悪い面があります。—〈略〉— しかし、今まで見えなかった部分というのは大きく、実はそこが一番大切な視点なのだと思います。 —〈略〉—

この2年間、多くの制約の中で学校生活を送ってきた子どもたち。美陽さんは、リストアップしたいろいろな不満を、「前向きな視点で」見つめ直した結果、「今まで見えなかった部分」の大きさに気がつくと、ふり返っています。

そして、「そこが一番大切な視点なのだ」という強い言い切りの言葉からは、コロナ禍の中で、さらに一回り成長した美陽さんの姿を伺うことができます。

美陽さんをはじめ、この日の発表者からは、私たち大人が気のつかなかったさまざまなことを教えてもらったように思います。「蒲郡の子どもたちから学ぶ」ことのできたそんな素晴らしい意見発表撮影会となりました。

本年度は、各地区の地域ふれあい活動も、多くの地区で中止とせざるを得ませんでした。が、補導員の方々のボランティア活動、若者支援活動等、さまざまな方々のおかげで青少年の健全育成が推進されました。多くの方のご尽力により、学校・家庭・地域の三者が一体となって、蒲郡の子どもたちのことを常に温かく見守り、支えることのできる環境があることを大変うれしく思っています。

最後になりますが、青少年健全育成推進事業にご尽力いただいております皆様方に深く感謝申し上げます。本事業のさらなる充実・発展をご祈念いたしまして結びとさせていただきます。

# も く じ

は じ め に

I	令和3年度 蒲郡市青少年健全育成地域活動推進事業	-----	1
II	令和3年度 青少年健全育成協議会・地域ふれあい活動	----	2
1	大塚地区	-----	3
2	三谷地区	-----	5
3	蒲郡地区	-----	7
4	中部地区	-----	12
5	塩津地区	-----	15
6	形原地区	-----	19
7	西浦地区	-----	25
	○令和3年度 健全育成協議会並びにふれあい活動のまとめ	---	31
III	令和3年度 補導員活動	-----	31
IV	令和3年度 地域安全・青少年健全育成市民大会	-----	33
	○大会宣言	-----	34
V	蒲郡市子ども・若者支援ネットワーク協議会の活動報告		
		-----	34

お わ り に

# I 令和3年度 蒲郡市青少年健全育成地域活動推進事業

## 1 地域ふれあい活動の変遷

蒲郡市は、昭和41年5月の「青少年を守る都市宣言」の決議から、家庭・学校・地域社会が一体となって、青少年健全育成市民運動を展開してきた。昭和56・57年度に文部省と愛知県から小中学校生徒指導研究推進地域指定を受けたことを契機に、各中学校区で青少年健全育成協議会を立ち上げ、学校主導でPTAを対象に非行防止の話し合いをする「ミニ集会」が誕生した。その後、地域主導、地域住民対象へと広がり、内容も健やかな子どもを育てるための多様な方法を試みる場として変化していった。

昭和から平成へ移るころには、子どもたちの社会体験・経験不足が叫ばれるようになり、ミニ集会は話し合い活動から清掃活動などの実践活動へと移行していった。平成7年度ごろからは、「地域ふれあい活動」として、地域の実態を勘案し、様々な内容で行われるようになった。子どもたちの参加は増加したが、より参加意欲を高めるために企画の段階から中学生を取り込む地区が増えてきている。地域で活躍する中学生の姿を見て、小学生は次代の自分を思い描くとともに、地域の大人たちは子どもたちを見直す機会ともなっている。

このように蒲郡市の「地域ふれあい活動」は、時代とともに内容を少しずつ変え、現在に至っている。そして、毎年それぞれの地区で工夫され、多くの参加者のもと充実した活動が展開されている。しかし、令和2年から続く新型コロナウイルス感染拡大に伴い、本年度も多くの行事が中止に追い込まれることになった。次年度は感染防止対策を講じた上で多くの行事が実施されることを期待する。

## 2 市内の青少年問題

蒲郡警察署の「犯罪と少年非行」によれば、市内の犯罪触法少年の数は、10年前の平成23年を100(70人)としたとき、令和2年は、9(6人)と大きく減少してきた。ぐ犯・不良行為少年は、平成23年を100(558人)としたとき、平成25年が最も多く185(1030人)である。令和2年は、大きく減少し38(213人)と10年前に比較しても減少している。補導される行為別では、深夜徘徊が164人(77.0%)、喫煙が30人(14.1%)となっており合わせて91%を占めている。

小中学生の問題行動においては、市内全体としては大変落ち着いた状況であるが、やはり個々に見ていくと家庭や本人に問題を抱え、安定した生活を送ることのできない子どもたちもいる。とりわけ不登校については、令和2年度調査では、病気以外の年間30日以上欠席者は中学校で86名(4.1%)、小学校で28名(0.7%)であった。小学校は前年度より若干減少したが、中学校で増加している。

青少年センター内の子ども・若者相談窓口では、令和2年8月、オンライン相談やメール相談ができるような仕組みを整え、引き続き運用している。

## Ⅱ 令和3年度 青少年健全育成協議会・地域ふれあい活動

### 1 健全育成協議会・準備運営委員会等

地 区	実 施 月 日	場 所	参加者数 または資料配布数
1 大塚	4月17日 (土)	紙面開催	19
	5月	紙面開催	51
2 三谷	2月16日 (水)	紙面開催	20
	5月	紙面開催	18
3 蒲郡	5月30日 (日)	紙面開催	150
	4月14日 (水)	蒲郡中学校	21
4 中部	5月10日 (月)	蒲郡中学校	52
	5月13日 (木)	紙面開催	82
5 塩津	11月9日 (火)	中止	0
	5月8日 (土)	塩津中学校	71
6 形原	10月28日 (木)	中止	0
	4月10日 (土)	形原中学校	21
7 西浦	5月9日 (日)	紙面開催	164
	1月8日 (土)	形原中学校	61
	4月19日 (月)	紙面開催	32
	5月13日 (木)	紙面開催	57

### 2 地域ふれあい活動(ミニ集会・ミニ活動)

地 区	会場数	参加延べ人数	開催期間
1 大塚	1	162	6月7日 ~ 6月7日
2 三谷	0	0	
3 蒲郡	2	55	5月9日 ~ 11月7日
4 中部	0	0	
5 塩津	1	10	5月9日 ~ 5月9日
6 形原	3	836	10月28日 ~ 11月18日
7 西浦	8	434	11月12日 ~ 12月3日
計	15	1,497	

# 1 大 塚 地 区

## 1 健全育成協議会運営委員会【紙面開催】

4月17日(土)19時より運営委員が大塚公民館に集まり、令和3年度大塚中学校区青少年健全育成協議会第1回運営委員会を開き、以下の内容を協議する予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のため紙面開催となった。

- (1) 令和3年度活動方針
- (2) 令和3年度活動計画
- (3) 令和3年度委託料予算
- (4) 令和3年度健全育成協議会のもち方
- (5) 3地区地域ふれあい活動
- (6) その他

## 2 大塚中学校区青少年健全育成協議会【紙面開催】

- (1) 日 時 紙面開催
- (2) 場 所 紙面開催
- (3) 参加者 3地区総代、県議会議員、市議会議員、奉公社代表理事、青少年センター所長、公民館長、公民館主事、保護司、民生・児童委員、主任児童委員、人権擁護委員、更生保護女性会、蒲郡警察、交通安全事務局長、地域補導員、少年補導委員、老人クラブ代表、子ども会役員、小中高PTA役員、おおつか児童館長、保育園長、小中高の学校関係者

### (4) 内 容

- ①市民憲章唱和 ②開会の言葉 ③主催者あいさつ ④来賓あいさつ

### ⑤協 議

#### ア ねらい

家庭・学校・地域及び関係諸機関が手を取り合って、地域ぐるみの青少年健全育成活動を展開し、心身ともにたくましい大塚の青少年を育成する。

スローガン『地域ぐるみ 育てよう 健やかな大塚っ子』

#### イ 活動内容

小中高生から健全育成標語・ポスター・意見文を募集し、優秀作品を表彰する  
ウ 令和3年度予算

### ⑥ 意見・情報交換

新型コロナウイルス感染防止のため紙面開催となったが、今後も各方面の方々から意見や情報をいただき、子どもたちの様子と周りの環境について共通理解を図っていきたい。

### 3 令和3年度ふれあい活動計画

#### ・地域ふれあいクリーン活動(大塚海岸・中学校通学路清掃)

- (1)ねらい ・大塚の美しい自然・歴史・文化を守る郷土愛を育てる。  
・共に汗を流す中で、地域やPTAの方々、小中学生の交流を図る。

(2)日 時 6月7日(月)10時45分～12時20分

(3)参加者 中学生136名、教職員26名  
(小学生は新型コロナウイルス感染防止のため参加できなかった)

(4)清掃区域 大塚海岸、大塚中周辺法面

※新型コロナウイルス感染防止の観点から  
地域・PTAの方々との交流はできなかった



[令和元年度の活動の様子]

#### 東大塚地区

- (1)日 時 7月11日(日)17時30分～20時30分→中止  
(2)会 場 大塚小学校体育館 【参加予定者800名】  
(3)内 容 獅子舞、模擬店、キッズダンス、高校生ヒップホップダンス、中学生和太鼓、民謡踊り他

#### 西大塚地区

- (1)日 時 8月7日(土)16時00分～20時30分→中止  
8日(日)19時00分～20時30分→中止  
(2)会 場 西大塚区民会館 【参加予定者600名】  
(3)内 容 中学生イベント(輪投げ、風船つり、ボールすくい等) 模擬店、盆踊り他



[令和元年度の活動の様子]

#### 相楽町地区

- (1)日 時 8月7日(土)15時00分～20時30分→中止  
(2)会 場 相楽生活センター 【参加予定者150名】  
(3)内 容 子ども神輿、金魚すくい等ゲーム、模擬店、盆踊り、ビンゴゲーム他



[令和元年度の活動の様子]

本年度は、一昨年度のように開催する予定で検討してきたが、新型コロナウイルス感染防止のために、中学校の清掃活動の他は、中止せざるを得なかった。毎年、地域の方々とともに小中学生を主体に盛大に開催されているので、次年度はぜひ開催したい。

## 2 三 谷 地 区

本年度の三谷地区青少年健全育成協議会のテーマを「地域ぐるみで守ろう、育てよう、すこやか三谷っ子」とし、日常的に行うあいさつ運動や防犯を意識した活動に取り組んだ。コロナウィルス感染防止のため、健全育成協議会準備会及び全体会は紙面開催とし、地域ふれあい活動については中止し、市の防災訓練には参加した。

### 1 健全育成協議会準備会【紙面開催】

- (1) 日 時 令和3年5月 18時00分～19時00分
- (2) 場 所 三谷中学校会議室
- (3) 参加者 各区総代、小中学校PTA役員、学校関係者

### 2 青少年健全育成協議会【紙面開催】

- (1) 日 時 令和3年5月30日(日) 9時00分～10時30分
- (2) 場 所 三谷中学校 体育館
- (3) 参加者 各区総代、市議会議員、民生委員、主任児童委員、地域補導員、少年補導委員、保護司、公民館長、高砂会、更生保護女性会委員、三谷祭保存会会長、各区保存会会長、小中学校PTA役員・実行委員、子ども会役員、交通指導員、保育園園長、児童館長、小中高等学校関係者

〔来賓〕 蒲郡市青少年センター所長 鈴木 洋 氏  
蒲郡警察署生活安全課長 稲垣 史一 氏

#### (4) 内 容

避難所開設担当職員紹介（蒲郡市防災課）

市民憲章唱和（三谷中学校PTA副会長 中野 恭子 氏）

- ① 開会のことば（総代会副会長 石川 明伯 氏）
- ② 三谷地区青少年健全育成協議会規約および役員の承認  
会長 中区総代 廣中 康人 氏 はじめ17名の承認
- ③ あいさつ
  - 三谷地区青少年健全育成協議会会長 廣 中 康 人 氏
  - 蒲郡市青少年センター所長 鈴 木 洋 氏
  - 蒲郡警察署生活安全課長 稲 垣 史 一 氏
  - 学校代表 三谷中学校長 加 藤 英 雄 氏
- ④ 地域補導員の紹介と活動 補導班長 小 田 洸 次 氏
- ⑤ 本年度の活動
  - テーマとねらい

テ ー マ	「地域ぐるみで守ろう、育てよう、すこやか三谷っ子」
重 点 目 標	・家庭、地域、学校、関係諸機関の連携を密にして、地域ぐるみで三谷地区の青少年を見守り、育てる活動を推進する。 ・地域ふれあい活動を通して、地域の教育力を高める。 ・あいさつ運動や日常の声かけ活動、防犯パトロールを通して、青少年の健全育成と明るい地域社会を築く。

○ 活動計画

- ・あいさつ運動、防犯パトロールの日常からの展開
- ・三谷ふれあいフェスティバル準備会・・・6月より開催
- ・三谷ふれあいフェスティバル・・・11月7日（日）に実施

⑥ 各区分科会と全体報告

⑦ 閉会のことば（主任児童委員 小笠原 輝子 氏）

あいさつ運動では、本年度もPTAの役員さんを中心に学校単位で計画される計18回の活動に加え、あいさつを通して日常的に子どもたちとふれあっていくため、大人から地域の子どもたちにあいさつをする活動に取り組んだ。

防犯パトロールも日常生活の中で、意識して地域と子どもたちの様子を目を向けていけるように取り組んだ。あいさつ運動同様、今後も全体に周知していく必要があるが、いつもみんなで見守っていく姿勢を大切にしていきたい。

### 3 地域ふれあい活動の計画と実際 → 中止

【日時】 令和3年11月7日（日）9時00分～11時30分

【会場】 三谷小学校運動場（参加予定者1500名）

【テーマ】「三谷ふれあいフェスティバル」

平成30年度より、ふれあい活動は、「三谷ふれあいフェスティバル」として6区合同で行っている。総代会を中心に、公民館、小中学校PTA、子ども会、三谷祭保存会、スポーツ推進委員、消防団などの実行委員で話し合い、準備を進めてきたが、新型コロナウイルス感染防止のため、開催を中止せざるを得なかった。

防災活動や数々のレクリエーションを通して、中学生から大人まで、世代や立場を超えてそれぞれが自分の役割を責任をもって果たすとともに、地域のつながりをあらためて体感できる活動である。次年度はぜひとも開催したい。

【写真はすべて令和元年度の活動の様子】





## 3 蒲 郡 地 区

### 1 青少年健全育成協議会

#### (1) 健全育成協議会準備会(学区総代会)

- ①日 時 令和3年4月14日(水)10時00分～
- ②場 所 蒲郡中学校 図書室
- ③協議事項
- ・前年度の協力費決算報告について
  - ・前年度の協議会・地域ふれあい活動の活動報告について
  - ・本年度の協力費予算案について
  - ・本年度の活動方針・地域ふれあい活動に向けて
  - ・本年度の協議会次第について
- ④出席者 学区各総代、各小中学校の校長・教頭・蒲郡中校務主任(計21人)

#### (2) 蒲郡中学校区青少年健全育成協議会【縮小開催】

- ①日 時 令和3年5月10日(月)10時00分～
- ②場 所 蒲郡中学校 体育館
- ③内 容
- a 開会の言葉 蒲郡中学校PTA会長 鈴木 公輔 氏
- b 市民憲章唱和 (感染症予防のため中止)
- c 蒲郡中学校区青少年健全育成協議会会長あいさつ  
学区青少年健全育成協議会会長 稲垣 雅治 氏
- d 来賓あいさつ 蒲郡市青少年センター所長 鈴木 洋 氏  
蒲郡警察署生活安全課長 稲垣 史一 氏
- e 学校避難所開設担当職員紹介 蒲郡市役所防災課  
地域協働活動コーディネーター紹介 統括コーディネーター 壁谷 昌泰 氏
- f 協議事項
- ア 令和2年度 蒲郡中学校区青少年健全育成協議会活動報告ならび決算報告
- イ 令和3年度 蒲郡中学校区青少年健全育成協議会基本方針ならび予算案
- ウ 小・中・高等学校における児童生徒の実態と生活指導上の諸問題について
- エ 蒲郡中学校区の健全育成について 地域補導員班長 永田 久子 氏
- オ 令和3年度 地域ふれあい活動について
- ・本年度の活動方針ならび今後の予定
  - ・本年度の活動計画または実践報告(各地区総代・公民館館長)
- g 閉会のことば 蒲郡中学校長 岡田 敏宏 氏
- ④参加者

蒲警生活安全課課長、市議会議員、青少年センター所長、人権擁護委員代表、各区総代、保護司代表、公民館館長、民生委員代表、児童委員代表、少年補導員代表、更生保護女性会代表、地域補導員代表、小中PTA代表、保育園園長、各小中高・学校関係者 (計52名)

本年度は、コロナ感染症予防のため参加人数を限定した縮小開催・会場変更を行い、会の冒頭で令和3年度の蒲郡中学校区健全育成協議会会長に、府相区の稲垣雅治氏が選出された。協議では、「生きる力」を身につけた子どもを育成していくために、青少年を健全に導くことを主眼とし、家庭・学校・地域の大人が

- ※地域の子どもたちを知る
- ※地域の子どもたちとあいさつをする
- ※地域の子どもたちのよい点をほめ、よくない点は注意する
- ※地域を知らせ、自分の故郷に愛着を感じさせる
- ※地域で子どもたちを守る

とする活動方針が承認された。また、地域ふれあい活動の目的を

- ・地域の大人と子どもたちが、活動を通してふれあうことにより、お互いを知り、大人と子どものよい関係づくりをめざす。
- ・地域の青少年健全育成についての意識をより高める。

の2点とし、実施日を日曜日にしていくことで、ふれあい活動を地域と学校が協力して盛り上げていくことを確認した。また、本年度から始まる地域学校協働活動のねらいや概要、各小学校区のコーディネーターの紹介を行った。地域補導員班長さんから蒲郡中学校区の健全育成についてお話いただき、今後も小・中学校と地域が連携して、コミュニティースクールの実現をめざし、子どもたちの健やかな成長を育んでいくことが重要であることを再確認できた。

## 2 「地域ふれあい活動」日程

地区名	日 時	場 所	活 動 内 容	中止・延期・変更等
蒲郡西区	5/9(日)	蒲郡公民館～ 豊岡湖公園	健康づくり 「レク・歩こう大会」	→本年度、縮小開催 →小中学生は不参加
港区 栄町	9/26(日)	港町西公園	公園の周辺の草取り 防災設備の取扱説明	→5月下旬の予定を 秋以降に延期 →コロナウイルス感染症第 5波拡大のため、中止
小江町 港区	8/10 ～12 (火～木)	蒲郡市 勤労福祉会館 駐車場	小江町民盆踊り大会	→9/26(日)に地区の清 掃活動へ変更 →コロナウイルス感染症第 5波拡大のため、中止
蒲郡東 新井形町	11/7(日)	各避難場所 ～蒲郡中体育館	自主防災訓練	→コロナウイルス感染症第 5波拡大のため、本年度 小中学生不参加
府相区	9/26(日)	竹島小運動場	府相区体育祭	→コロナウイルス感染症第 5波拡大のため、中止
豊岡町1区 豊岡町2区 五井町 平田町	10/24(日)	蒲郡東部小学校 運動場	東部地区民体育祭	→コロナウイルス感染症拡 大の影響を考慮し、中止
三谷西区	11月初旬	三谷小学校 運動場	三谷ふれあい フェスティバル (活動内容は検討)	→コロナウイルス感染症第 5波拡大のため、中止

各地区、感染症対策を講じながらの開催をめざしたが、8月以降の新型コロナウイルス感染症の第5波拡大により、本年度も縮小開催・中止という決断がなされた。

### 3 各地区「地域ふれあい活動」

#### 蒲 郡 西

日 時 5月9日(日) 9時00分～10時30分  
会 場 蒲郡公民館～東部公民館 【参加者 約40名】  
テーマ 「地域での『ふれあい』と『つながり』を大切に」

本年度も、地域のふれあいとつながりを育むレクリエーションとウォーキング大会を企画し、計画を進めてきた。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大のため、小中学生の参加は控えて、参加人数を限定して進めることとした。活動内容・時間も縮小し、マスク着用や検温、手指消毒等の感染症対策を講じて当日を迎えたが、地区役員以外にも親子連れの姿も見られ、2年ぶりにふれあい活動を実施することができた。

本年度ふれあい活動を継続できたことは、来年度以降の活動の企画・運営のための共通経験となり、非常に有意義だったと考える。今後も小中学生の健全育成を図ることと地域のつながりを深める活動を継続していきたい。

#### ▼本年度の活動の様子



#### 港 区・栄 町

日 時 9月26日(日) → 中止  
会 場 港町西公園 【参加予定者 約80名】  
テーマ 「公園内の清掃美化・防災訓練」

昨年度と同様に、港町西公園や蒲郡駅周辺の清掃活動と公園に配置されている防災設備の活用方法を確認し、地域の防災意識を高めるふれあい活動の計画を立て、準備を進めてきた。ただ、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、地区役員との話し合いを経て5月の活動予定を9月へ延期することを決断した。しかし、感染拡大第5波の影響で地域感染レベルの引き上げが行われ、中止という決断に至った。来年度以降も、小中学生と地域住民とのつながりを実感し、地域の「共助」の輪を広げる活動を進められるようにしたい。

#### 小江町区・港区

日 時 8月10～12日(火、水、木) → 中止  
会 場 勤労福祉会館駐車場  
テーマ 「小江町民盆踊り大会」

本年度こそ、昨年度実施できなかった盆踊り大会を開催し、地域全体のふれあいの場として位置づけようとした。しかし、愛知県の緊急事態宣言に伴い、昨年度同様9月に各地区に分かれて清掃・美化活動を進めることに変更した。ただ感染症拡大第5波の影響を受け、変更した活動も中止せざるを得ない状況となった。苦渋の決断であ

ったが、地域の祭事が神事のみで限定される中、小中学生と地域の皆さんとの交流の場が、徐々にそして確実に減少していくことは非常に憂慮する事態である。今後も、小中学生の健全育成を図ることと地域のつながりをさらに深められるよう、活動の継続をめざしたい。

## 蒲郡東・新井形

日時 11月7日(日) 9時00分～10時30分  
会場 各避難場所→蒲郡中学校【参加者 約15名】  
テーマ 「自主防災訓練」

本年度は、11月7日に計画された「市民総ぐるみ防災訓練」の一環として、実際に避難所となる蒲郡中学校体育館を舞台に、各家庭でのシェイクアウト訓練に合わせて「自主防災訓練」を計画していた。しかし、感染症拡大第5波の影響を受け、小中学生を含めた地域住民の皆さんの参加はかなわず、地区役員のための訓練活動として縮小開催をした。当日は非常時に配付される備蓄や避難所で使用される備品の確認を行った。

今回学んだ内容をもとにして、地域防災についての意識高揚をめざした活動を計画していきたい。



▲防災備品の確認作業の様子

## 府相区

日時 9月26日(日) → 中止  
会場 竹島小学校運動場  
テーマ 「府相区体育祭」

本年度は、昨年度取りやめとなった地区の体育祭を実施することをめざして、地区役員や学校関係者のみなさんと協議を重ねながら計画の立案を進めてきた。実施予定だった9月26日は修学旅行の代休日であったが、7月の時点で中学3年生も運営に協力してくれることになり、実施に向けた準備を具体的に進めてきた。しかし新型コロナ第5波の流行により本年度も中止となった。ふれあい活動については残念な結果となったが、府相公民館の活動では蒲郡中学校の美術部の生徒が小学生のポスター教室の講師となり活躍をしてくれたり、美術作品を展示したりと継続的な交流が続いている。このつながりを大切にしながら来年度こそ、「With コロナ」を念頭にした府相区体育祭を復活させたいと考えている。

## 東部地区

豊岡第一、豊岡第二、五井、平田

日時 10月24日(日) → 中止  
会場 蒲郡東部小学校運動場  
テーマ 「東部地区民体育祭」

本年度も区民体育祭(第67回を予定していた)を地域のみなさんと小中学生のふれあいの場として位置づけ、各地区の役員と協議を重ねながら計画・準備をしてきた。しかし、5月の緊急事態宣言解除後も、変異株の流行が見られ始めたことを

含め、諸条件を各地区で相談した結果、中止という決断に至った。

中学生が運営の中心となって各種目の準備や片付けをすすんで行き、小学生も楽しみに参加している子が多く、地域の皆さんとふれあう場として欠かせない東部地区民体育祭。来年度以降の復活開催に向け、各地区と連携していきたい。

## 三 谷 西 区

日 時 11月初旬の日曜日 → 中止  
会 場 三谷小学校  
テーマ 「三谷ふれあいフェスティバル」

三谷地区のすべてが集う「三谷ふれあいフェスティバル」を開催する予定で準備を進めてきたが、新型コロナウイルス感染症第5波の影響から、中止せざるを得なかった。

三谷西区では11月7日、市民総ぐるみ防災訓練の一環として、地区役員のみが参加して防災訓練を行った。例年、ふれあい活動で進める「三谷ふれあいフェスティバル」は、地区全体の「防災・ふれあい・健全育成」を願った地域の恒例行事である。来年度以降の開催に向けて、今年学んだ防災知識や行動を生かせるよう、各地区と協議を進めながら活動の継続を図っていききたいと考えている。

## 4 まとめ

昨年度から引き続いたコロナ禍の中、各地区で積み重ねてきたふれあい活動の実施が2年連続で難しい状況となった。ただ、どの地区も青少年健全育成の目的を十分理解し、熟議を重ねながら、ふれあい活動に向けた準備を進めていただいた。このような各地区での地道な取り組みが、来年度以降の活動の継続・発展に生かされるよう各地区との連携を図っていききたい。

一方、府相地区での報告にもあったように、このような状況の中で「地域学校協働活動」の一環として学校と公民館とが連携し、新たな活動が始まった。7月末の夏休みの日程を利用し、蒲郡中学校の美術部員が府相公民館を訪れ、小学生を対象にした「ポスターの描き方講座」を開いたのがその一例である。参加した中学生からは「小学生に教えたことで自分も勉強になった」「小学生が慕ってくれたことで、もっとうまく絵を描きたい気持ちが強くなった」という声が聞かれた。

蒲郡中学校美術部と府相公民館では、玄関に掲げる看板のデザインを生徒が考え、地域の方と協議しながら作成を進める企画など、その後も交流が継続している。課題・問題点を見つめるだけでなく、コロナ禍を経て生まれたこのような活動をヒントにして、児童・生徒や地域の方々の笑顔が広がる活動を継続させ、地域の絆を育む活動のあり方を今後も模索していきたい。



▲府相公民館でのポスター講座の様子

## 4 中 部 地 区

### 1 中部中学校区青少年健全育成協議会【紙面開催】

- (1) 日 時 令和3年5月13日(木)9時00分～11時00分
- (2) 場 所 中部中学校 図書室
- (3) 内 容<予定されていたもの>

- ① 市民憲章唱和
- ② 開会の言葉
- ③ 学区校長あいさつ(蒲郡北部小学校長)
- ④ 令和3年度協議会会長、副会長の承認について
- ⑤ 令和3年度協議会会長あいさつ(吉光区総代 細井 政雄 氏)
- ⑥ 来賓あいさつ(蒲郡警察署生活安全課長 稲垣 史一 氏)  
(青少年センター所長 鈴木 洋 氏)
- ⑦ 協議
  - ・中部中学区児童生徒の様子と生徒指導上の問題点
  - ・令和3年度「地域ふれあい活動」について

#### (4)参加者<82名>

学区総代 学区市議会議員 民生委員 P T A会長 地区補導員 更生保護女性会  
子ども会会長 主任児童委員 公民館長 保護司 P T A関係部長 学校長  
校務主任 中部中生徒指導主事

例年、地域での子どもたちの様子や本年度の地域ふれあい活動の日程・内容・方法などが話し合われている。

本年度は規模を縮小しての開催も模索したが、感染症拡大防止のため、2年連続で紙上開催となった。



<協議会全体会の様子(R1)>

### 2 中部中学校区青少年健全育成協議会運営委員会(地域ふれあい活動反省会)【中止】

- (1) 日 時 令和3年11月9日(火)10時00分～11時30分
- (2) 場 所 中部中学校 図書室
- (3) 内 容

- ① 協議会会長あいさつ(吉光区総代 細井 政雄 氏)
- ② 来賓あいさつ(青少年センター所長 鈴木 洋 氏)
- ③ 協議
  - ・児童生徒の様子について
  - ・問題となる遊び場、たまり場、危険箇所について
  - ・令和3年度ふれあい活動の反省

#### (4)参加者<35名>

学区総代 学区市議会議員 民生委員代表 主任児童委員代表 地区補導員代表  
公民館長 更生保護女性会代表 子ども会会長 P T A会長 P T A関係部長  
保護司代表 学校長 校務主任

例年、地域ふれあい活動の反省や子どもたちの様子などが話し合われている。昨年度に続き地域ふれあい活動が開催できなかつたこともあり、また感染症予防の観点からも、本年度の開催も見送ることになった。



<分科会の様子(R1)>

### <子どもたちの様子>

新型コロナウイルス感染拡大で、どの学校も学校行事などの変更や縮小が余儀なくされたが、子どもたちは前向きに日々の学校生活や行事に取り組んできた。今後とも地域とのつながりを大切にできる児童生徒の育成に取り組んでいきたい。

## 3 各地区のふれあい活動

### 神ノ郷町総代区

日時 5月22日(土) 13時00分～16時00分→中止  
会場 西部小学校運動場【参加予定者500名】  
テーマ 「西部地区体育祭」

例年、体育祭を行っているが、本年度も新型コロナウイルス感染防止のために、開催を中止せざるを得なかつた。そのため秋に公民館とのタイアップで何らかの活動することも計画したが、こちらでも中止せざるを得なかつた。毎年、地区の方々と小中学生を主体に盛大に開催されているので、次年度は是非とも開催したい。



<開会式整列の様子(R1)>

### 坂本町総代区

日時 6月6日(日) 13時30分～15時30分→中止  
会場 中央公園グラウンド【参加予定者85名】  
テーマ 「スポーツ大会」

本年度も昨年度に引き続き、スポーツ大会を開催する予定で内容の検討を進めていたが、新型コロナウイルス感染防止のために、開催することができなかつた。毎年、地区の方々と小中学生の貴重な交流の場となっており、次年度は例年通り開催できることを期待している。



<グラウンドゴルフ(R1)>

## 水竹町総代区

日 時 7月4日(日) 9時00分～11時00分→中止

会 場 中部中学校他【参加予定者 180名】

テーマ 「地域防災訓練」

本年度も、例年のように「地域防災訓練」を開催実施する予定で準備を進めてきたが、新型コロナウイルス感染防止のために、開催を中止せざるを得なかった。

そこで11月7日(日)の市民総ぐるみ防災訓練と連動して実施することを考え計画を立てた。しかし、計画している段階で感染拡大が収まらず、本年度は中止することになった。

次年度は是非例年通り開催し、地区の方と小中学生の交流の場としたい。



<担架での運搬(R1)>

## 中央小学区

吉光・栄町・蒲形・小江  
蒲郡西・宮成 総代区

日 時 8月29日(日) 8時00分～9時00分→中止

会 場 中央小学校運動場【参加予定者 300名】

テーマ 「草刈り・ごみ拾い」

例年、中央小学校付近の草刈りやごみ拾いの活動をしている。昨年度は中止になったため、本年度はなんとか開催しようとし、ぎりぎりまで検討を重ねたが、感染拡大の第5波の時期と重なり、開催を中止せざるを得なかった。

毎年、地区の方々と小中学生の交流の場になっているので、次年度は開催できることを期待している。



<中央小周辺の草取り(R1)>

## 清田町総代区

日 時 9月中旬以降の日曜 →中止

会 場 北部小体育館【参加予定者 45名】

テーマ 「地域防災訓練」

清田町はこれまでの活動を令和元年度に見直し、地域防災訓練を新しく企画し実施した。

昨年度は実施できなかったため、本年度はなんとか開催できるよう計画を検討してきたが、感染拡大に歯止めがかからない状況のため、開催を中止せざるを得なかった。

次年度は是非例年通り開催し、地域の方と小中学生が触れあう場にしたい。



<AEDの使い方講習会(R1)>



## 5 塩津地区

本年度の塩津地区青少年健全育成協議会のテーマを「～みんなして 声かけあって 育てよう～ 市民ぐるみの『青少年健全育成地域活動』」とし、日常的な青少年への声かけ運動や地域の見回りなどに取り組んだ。

本年度は塩津地区の青少年健全育成協議会を、新型コロナウイルス感染防止のため、第1回を地区協議会のみでの縮小開催、第2回を中止とした。

### 1 第1回青少年健全育成協議会【縮小開催】

(1) 日 時 令和3年5月8日(土) 13時30分～15時30分

(2) 場 所 塩津中学校 体育館他

(3) 内 容

- 1, 市民憲章唱和 塩津中PTA副会長 田 邊 由 香 氏
- 2, あいさつ ○塩津地区健全育成協議会会長 石 川 良 一 氏  
○蒲郡市役所交通防犯課長 鳥 居 昭 裕 氏  
○蒲郡市青少年センター所長 鈴 木 洋 氏  
○学校代表 塩津中学校長 牧 原 宏 太 氏
- 3, 情報交換 ○蒲郡警察署生活安全課長 稲 垣 史 一 氏  
○地区補導員班長 天 野 孝 行 氏  
○塩津小学校の様子 竹 内 清 師 氏  
○塩津中学校の様子 大 塚 博 康 氏
- 4, 協 議
  - ① 塩津地区青少年健全育成協議会規約について
  - ② 地区協議会
    - ・自己紹介
    - ・最近の児童・生徒の姿
    - ・問題になる遊び場・危険個所
    - ・地域ふれあい活動について
  - ③ 全体協議
    - ・各地区協議会の発表
    - ・全体質疑
- 5, 閉会のあいさつ 塩津公民館長 牧 野 満 文 氏

### 2 第2回青少年健全育成協議会(開催予定案)→中止

(1) 日 時 令和3年10月28日(木) 13時30分～15時30分

(2) 場 所 塩津小学校 多目的教室

(3) 内 容

- 1, 市民憲章唱和 塩津小PTA副会長 石 川 良 美 氏
- 2, あいさつ ○塩津地区健全育成協議会会長 石 川 良 一 氏  
○蒲郡市役所交通防犯課長 鳥 居 昭 裕 氏

- |         |               |           |
|---------|---------------|-----------|
|         | ○蒲郡市青少年センター所長 | 鈴木 洋 氏    |
|         | ○学校代表 塩津小学校長  | 廣 濱 俊 伸 氏 |
| 3, 情報交換 | ○蒲郡警察署生活安全課長  | 稲 垣 史 一 氏 |
|         | ○地区補導員班長      | 天 野 孝 行 氏 |
|         | ○塩津小学校の様子     | 竹 内 清 師 氏 |
|         | ○塩津中学校の様子     | 大 塚 博 康 氏 |

#### 4, 協 議

##### ① 地区協議会

- |                |               |
|----------------|---------------|
| ・自己紹介          | ・最近の児童・生徒の姿   |
| ・問題になる遊び場・危険箇所 | ・地域ふれあい活動について |

##### ② 全体協議

- |            |       |
|------------|-------|
| ・各地区協議会の発表 | ・全体質疑 |
|------------|-------|

5, 閉会のあいさつ 塩津公民館長 牧野満文氏

#### 【第1回参加者（71名）、第2回参加予定者】

各区総代、地区市議会議員、地区常会長、蒲郡警察署生活安全課長、蒲郡市役所交通防犯課長、人権擁護委員、更生保護女性会、補導員、保護司、民生委員、主任児童委員、各区祭り保存会、塩津公民館長、塩津公民館主事、塩津保育園園長、鹿島こども園園長、しおつ児童館長、子ども会役員、小中学校PTA役員、蒲郡市青少年センター所長、小中学校関係者

#### 【最近の児童・生徒の姿】

- ・コロナ禍による自粛が長引く中、子どもたちにも心身に影響が出ているのではないかと危惧していましたが、今のところ大丈夫なようである。
- ・前田公園において、中学生、小学生と一緒に遊んでいる。
- ・学校では、交通安全教室などやっていると思うが、もう一度しっかり指導した方がいいと思う。一番危険なのは交通事故。
- ・中学生の自転車のマナーが悪い人がいる。



### 3 地域ふれあい活動

## 西 迫

日 時 5月9日(日)8時30分～10時30分  
会 場 桜の馬場周辺・通学路  
【参加者約10名】  
テーマ 親子ふれあい草刈り

例年は、児童や生徒、先生方も参加して桜の馬場に集まり、草刈り、清掃を行っていたが、本年度は新型コロナウイルス感染防止のため、地区の役員・保護者のみで実施した。



[R1の活動の様子]

## 柏 原

日 時 6月20日(日)9時30分～11時30分 → 中止  
会 場 柏原公民館・スポーツ広場 【参加予定者80名】  
テーマ 学ぼう防災訓練・遊ぼうグラウンドゴルフ

昨年度は、規模を縮小し防災訓練を行った。本年度は、上記のように「学ぼう防災訓練・遊ぼうグラウンドゴルフ」を実施するように準備を進めてきたが、新型コロナウイルス感染防止のため、中止せざるを得なかった。次年度は、開催できることを期待している。



[R2の活動の様子]

## 奥 林

日 時 6月20日(日)10時00分～12時00分 → 中止  
会 場 奥林公民館 【参加予定者約40名】  
テーマ 応急手当入門

小・中学生を中心とした応急手当入門を計画したが、緊急事態宣言の解除時期について見通せない状況があり、また、蒲郡市においても感染拡大が収まらない状況が続いていたので、開催を中止せざるを得なかった。次年度は是非とも開催したい。



[R1の活動の様子]

## 松 田

日 時 8月11日(水) → 中止  
会 場 松田スポーツ広場 【参加予定者50名】  
テーマ 納涼まつり

例年、上記のように松田納涼祭りを盛大に行っているが、昨年度に引き続きコロナ関連の感染防止対策の一環として、開催を中止せざるを得なかった。この納涼祭りを子どもたちの健全育成を願う行事の一つととらえているので、次年度は開催できることを期待している。



[R1の活動の様子]

## 拾石

日時 未定 → 中止  
会場 拾石町内 【参加予定者 400名】  
テーマ 町内のゴミ拾い

例年、拾石町では地域の伝統文化になっている盆踊り大会を実施している。本年度は、上記のように町内のゴミ拾いを計画したが、新型コロナウイルス感染防止のために、開催を中止せざるを得なかった。



〔R1の活動の様子〕

## 町区

日時 8月21日(土) 9時00分～11時00分 → 中止  
会場 竹谷町区内 5か所の資源ゴミステーション周辺  
【参加予定者 50名】  
テーマ 町内清掃、ゴミ出しルール啓蒙活動

例年は盆踊り大会を実施しているが、コロナ禍の本年度も昨年度に引き続き、上記のように町内清掃・ゴミ出しルールの啓蒙活動のふれあい活動を計画した。昨年度は、新型コロナウイルス感染防止のために、参加者を最小限に絞り、地区の役員のみで実施できたが、本年度は緊急事態宣言のために中止せざるを得なかった。次年度は、ふれあい活動を開催できることを期待している。



〔R1の活動の様子〕

上記以外の川東、鹿島東、鹿島南地区も、コロナ禍でも開催できることを検討したが、感染防止のために中止せざるを得なかった。

ふれあい活動には小中学生、地区役員、PTAや子ども会の方、地区にお住まいの方など、幅広い年齢層の方々が参加し、地域の人々がふれあうことのできる大切な場となっている。次年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、どのようなかたちの活動になっていくか予測もつかないが、地区の特色を生かした活動を展開していきたい。



〔鹿島東 R1の活動の様子〕



〔川東 R1の活動の様子〕



〔鹿島南 R1の活動の様子〕

## 6 形 原 地 区

### 1 青少年健全育成協議会

#### (1) 青少年健全育成協議会準備会

- ① 日 時 令和3年4月10日(土) 10時00分～
- ② 場 所 形原中学校 多目的室
- ③ 参加者 学区各総代、鹿島北常会長、鹿川町内会長  
各小中学校の令和3年度PTA役員予定者(会長、補導部長)  
各小中学校の校長・校務主任 (計21名)
- ④ 協議事項
  - ・本年度の健全育成協議会の開催日時とテーマについて
  - ・本年度の活動方針、健全育成の今後について
  - ・地区ふれあい活動の運営について

※本年度は、新型コロナ感染防止の為、各地区での開催は中止。  
→小中学校にて、9月～11月に清掃活動

  - ・小中学校の状況報告について

#### (2) 青少年健全育成協議会全体会

- ① 日 時 令和3年5月9日(日)
- ※コロナ感染防止の為 中止→紙面開催

### 2 令和3年度 形原地区「地域ふれあい活動」日程

地区名	月日 (曜)	開始時刻	集合場所	テーマ 主な活動内容
形原中	11/18 (木)	14:30	生徒が地区ごとに決めた場所	『SKAT活動』(地域清掃活動) ・地区の清掃場所探し(秋休み) ・日頃お世話になっている地区の様々な場所をきれいにしよう
形原小	10/29 (金)	14:00	春日浦海岸	『いいじゃん春日浦海岸クリーン作戦』 (地域清掃活動) ・春日浦海岸をきれいにしよう
形北小	10/28 (木)	14:00	・双太山公園 ・北浜公園と海岸 ・あじさいの里	『今こそひとつになろう！ ～みんなの笑顔は∞(むげんだい)～』 (地域清掃活動) ・形北の町をみんなの力できれいにしよう

### 3 地域ふれあい活動

形原中

日 時 11月18日(木) 14時30分～15時30分

会 場

地区	活動場所	地区	活動場所
1区	秋葉神社	7区	双太山公園, 出口チビッコ広場 前野チビッコ広場, 八幡宮 広田ガードレール沿い 太陽の家西側遊歩道⇒北淀尻チビッコ広場 天満神社, 形原テニスコート
2区			
3区	旧形原漁港		
4区	しあわせ会館		
5区	形原神社 素菱鳴神社	8区	あじさいの里入り口, 宝喜神社池付近 温泉街道より東にのびる歩道(彼岸田北側) 岩上神社, 折り坂公園
鹿川	鹿川交差点北東247号線歩道		
6区	明後の諏訪神社, 明後チビッコ広場 下市公園, 春日浦海岸	鹿島	鹿島児童遊び場周辺
		北浜	北浜公園

参加者 480名(全校生徒・総代・中学校保護者・地域の方)

テーマ 「S K a T活動」(地域清掃活動)

<当日まで>

①10/9(土)～10/13(水) (秋休み)

自分の地域で清掃したい場所をタブレットで撮影

②10/14(木) 通学団会

各通学団で、撮影してきたタブレットの画像をもとに、清掃する場所を決定



<当日 11/18(木)>

- ① 開会式 挨拶、説明
- ② 活動内容
  - ・各地域の清掃活動
- ③ 閉会式 挨拶、総評



#### ◆ 感想

自分の家に近い場所を活動場所にすることができてよかったです。保育園の遠足や小さい子とお母さんが使っているのをよく見ているので、長く伸びきってしまった草を切ることができてよかったです。近所なので知り合いがたくさん通ったけど、その分あいさつがしやすく、とても褒めてもらえました。こういう活動があるから、いろいろな人に助けてもらえて、地域が成り立っているんだなと感ずることができました。

(2年 女子)

私たちが掃除したのは散歩をする地域の方たちや小学生の子たちがよく通るような場所でした、最初は土や落ち葉や木の実などでうめつくされていて、とても汚かったです。でも、掃除をしていくうちにきれいになっていきました。どんどんきれいにして、もうすぐ終わるという頃に、小学校から下校してきた子たちや地域の方たちが「すごくきれいになってる！」と言ってくれました。それを聞いて私は地域の方の役に立てたかな？と思って、うれしく、誇らしい気持ちになりました。

(1年 女子)

掃除をして、かなりきれいになりました。神社のほうもそれなりにきれいになったけど、チビッコ広場は特にきれいになりました。たった1時間だったけど、思っていたよりもきれいになって気分がよかったです。全員がまじめにしっかりと掃除をした成果だと思います。帰りに、掃除のおばさんとゲートボールをしました。おばさんがうれしそうにしていたので、よかったなと思いました。とてもいい経験になりました。

(3年 男子)

## 形原小

日 時 10月29日(金) 14時00分～15時30分

会 場 春日浦海岸

参加者 85名(6年児童・総代・地域ボラ・保護者・職員)

テーマ 「いいじゃん春日浦海岸クリーン大作戦」

活動内容 春日浦海岸の清掃活動



### ◆ 感想

活動を終えて地元を大切にしなければいけないんだと改めて思いました。地元のために、活動している人はすごいと思えました。ぼくも、この形原を大切にしたいと思えました。そして、これまで形原のために活動してくれたみなさんに感謝したいです。  
(6年男子)

ぼくは、海岸がとてもきれいになってすっきりしたし、うれしかったです。でも、地域の方々は、大量のごみや海から流れてきた木材などを毎日分別していて、とてもすごいと思えました。ぼくもできるだけがんばってそうじをしました。そうじをして心がすっきりしました。  
(6年男子)

最初と比べて海岸はすごくきれいになったと思います。みんながしっかりごみを集めて、どんどんきれいになったのでよかったです。私たちが気持ちよく春日浦で過ごせているのはボランティアの方々のおかげだなと改めて思いました。海岸のそうじは疲れたけれど、私はこの活動をすることができてよかったです。  
(6年女子)



## 形北小

日時 10月28日(木) 13時30分～14時30分  
会場 双太山公園・北浜公園・あじさいの里  
参加者 271名(4,5,6年生児童・総代・保護者・各公園管理担当)  
テーマ 「今こそひとつになろう!～みんなの笑顔は∞(むげんだい)～」  
(地域清掃活動)

- ① 開会式 挨拶、説明
- ② 活動内容
  - ・地域の公園の清掃活動(双太山公園・北浜公園・あじさいの里)
- ③ 閉会式 挨拶、総評



### ◆ 感想

今まで地域のために何かをするということをあまりしてきませんでした。今回、掃除をして、私たちの住む町の役に立ててうれしかったです。いつも見ている景色と違うきれいな海岸を見て、掃除をすればここまできれいになるのだと、身近にある美しさに気づきました。みんなで協力して北浜公園と海岸をきれいにできてよかったです。(6年 女子)

あじさいの里の掃除をして、仲間と協力して落ち葉や木の枝を集めることができ、心も掃除をしたところもきれいになりました。落ち葉やどんぐりが大量にあって、最初はこの量を集めるのはきつそうだなあ、と思っていたけれど、やってみると意外と楽しくて、すぐに終わってしまいました。また、他のところも掃除できるといいです。(5年 女子)

ぼくは、ごみを夢中で拾いました。双太山公園には、ごみやたくさんの落ち葉があって、とちゅうでいやになってしまいそうだったけれど、まわりの友達や地域の人が生懸命やっているのを見て、ぼくもがんばることができました。きれいになった公園を見て、とてもうれしかったし、気持ちよかったです。(4年 男子)

## 4 まとめと来年度に向けて

### (1) 青少年健全育成協議会（ふれあい活動も含む）

形原地区では、以下に示すように、大きく4つの会議・活動を設けている。

- ①準備会（4月中旬）……新役員により本会（全体会）の実施案（テーマ、活動方針など）について検討する。
- ②全体会（5月中旬）……本年度のテーマを決定する。ふれあい活動の具体的な内容を検討する。地区の情報交換を行う。
- ③ふれあい活動（6月～9月）……各地区の特色を生かした活動を行う。
- ④反省会（1月中旬）……1年間の反省から次年度の方針について話し合う。

以上のような会議・活動を通して、地域の子どもたちの健全育成に取り組んできた。

本年度は、新型コロナウイルス感染防止の為、昨年度に続き例年行われていた各地域でのふれあい活動の中止を、準備会にて決定した。全体会も紙面報告で行った。反省会は、来年度に向けて、例年よりも人数を縮小して行う予定である。

ふれあい活動に代わる活動として、各小中学校で、地域の清掃活動を行うことにした。子どもたちは、地域の方にあまり関わることのできない状況である今こそ、清掃活動を通して地域の方に喜んでもらおうと、一生懸命取り組むことができた。また、この清掃活動を通して、地域の方とともに活動したり、通りすがりの方にあいさつをしたり、地域の方から褒めてもらったりしたことによって、地域との関わりを生むことができた。いつもとは違った地域ふれあい活動になったが、総代さん・保護者の方の協力を得て、よい活動を行うことができた。

### (2) 来年度に向けて

来年度もコロナ禍の影響により、どのようなかたちの活動になっていくか予測がつかない。可能であるならば、学校ごとの清掃活動ではなく、地域の特色を生かした活動に戻していきたい。だが、2年間、地域でのふれあい活動ができていない状況にあるため、運営を経験している者が少なくなっている現状がある。運営に支障をきたすことも予想されるが、もう一度、ふれあい活動の意義に立ち返り、どのような活動が形原地区の子どもたちが健全に育っていくことにつながるのかを考える機会としていきたい。また、子どもたちと地域の関わりを、ふれあい活動から発展させて、学校生活や日常生活の中に積極的に取り入れていきたいと考えている。

## 7 西 浦 地 区

### 1 青少年健全育成協議会

#### (1) 青少年健全育成推進協議会準備会【紙面開催】

- ① 日 時 令和3年4月19日(月)15時30分～
- ② 場 所 西浦中学校 図書室
- ③ 参加者 学区5地区総代、小中学校PTA会長・副会長、小学校PTA生活部  
中学校PTA補導部、保育園園長、保育園父母の会会長・副会長  
小中学校校長、小中学校校務主任 総勢32名
- ④ 協議内容 ・経過説明 昨年度の西浦地区の健全育成ふれあい活動と課題  
・健全育成協議会の開催について 基本方針・活動方針の確認  
・ふれあい活動の内容検討 実施日時・場所・役割分担

#### (2) 青少年健全育成推進協議会【紙面開催】

- ① 日 時 令和3年5月13日(木)10時00分～
- ② 場 所 西浦公民館
- ③ 参加者 学区5地区総代、公民館長、公民館主事、保護司、民生・児童委員、  
少年補導委員、地区補導員、更生保護女性会、  
子ども会理事、消防団分団長、交通安全推進協議会役員、  
保育園園長、保育園父母の会会長・副会長、児童館館長  
小中学校PTA会長・役員、小中学校校長・関係職員  
＜来賓＞青少年センター所長、蒲郡警察署生活安全課長 総数57名

#### ④ 内 容

- ア 開会のことば 協議会副会長 知柄総代 吉見 功 氏
- イ 主催者あいさつ 協議会会長 橋田総代 飯島 身吉 氏
- ウ 協議・報告事項

#### ◎ 基本方針 ＜ 本年度の健全育成スローガン ＞

西浦人の共通の願い

◎ 地域みんなで育てる 健やかな西浦っ子

基本方針

「家族とのコミュニケーションを大切にする西浦っ子」

「大きな声で元気にあいさつできる西浦っ子」

「笑顔の絶えない明るい西浦っ子」

◎ 活動方針

- 家庭で子どもと話をしよう。
- 地域・家庭・学校の連携・協力を深めよう。
- 地域みんなで青少年に声をかけ、目をかけ、気をかけよう。
- 家庭の教育力を地域で育てよう。

◎ ふれあい活動について

事務局

◎ スクールガードの活動について

小学校PTA生活部長

1 目的

- ・交通事故からの危険防止, 不審者対策, 野犬対策として行う。
- ・地域から募ったボランティアとPTA会員のみんなで, 子どもたちの登下校を見守り, 西浦地区の交通安全と防犯に努める。

2 活動内容 〈できる時に, できる場所で, できることを!〉

- ①子どもの帰宅時刻近くに自宅付近の道に出て近所の子どもを出迎える。
- ②子どもと一緒の登下校 ③登下校時にあわせて近所の散歩
- ④交差点などで子どもの様子を見守る等, できることをする。

3 構成員

- ・地域から募ったボランティア, PTA会員全員
- ・PTA会員全員については, 〈できる時に, できる場所で, できることを!〉に従って1年に1回は行う。

◎ PTA見守り隊について

中学校PTA補導部長

1 目的

- ・西浦地区の青少年の健全育成をめざす。
- ・生徒の通学路を点検し, 危険箇所の確認をする。

2 活動内容

- ①生徒下校時刻(雨天時も実施)に見守り活動をする。
- ②見守り時は, あいさつ, 声かけ, 交通安全や防犯(不審者対応)のための活動をする。

3 構成員

- ・PTA会員全員, 中学校教師
- ・4人~8人で班編成をする

◎ 各校園の現状報告

西浦保育園・小学校・中学校

エ お礼のことば

西浦中学校長

小田 高久 氏

オ 閉会のことば

協議会副会長 知柄総代

吉見 功 氏

## 2 令和3年度西浦地区「地域ふれあい活動」

コロナ禍のため、例年のような地域の方々と小中学生とのふれあい活動は、残念ながら実施を見送った。その代替りとして、小中学校それぞれで地域のための活動を行うことで、「ふれあい活動」とした。

### <西浦中学校 ふれあい活動「はあとぷろじえくと」>

- (1) 日 時 12月3日(木) 14時00分～15時00分
- (2) 会 場 各地区の会館，公園など
- (3) テーマ 清掃活動 ～地域の役に立とう～
- (4) 各地区の活動内容

3年生主体で計画・運営を進めた。生徒代表から各地区総代さんへ電話をし、具体的な活動内容や依頼事項を話し合った。当日、一緒に活動した総代さんたちとのふれあいを通して、生徒たちは地域との関わり大切さを改めて感じていた。

### 橋 田

活動内容：橋田振興会館内の清掃，駐車場の落ち葉拾い  
参 加 者：生徒13名，橋田総代，常会長ほか

地域のためにどんなことができるかを深く考えることができました。(1年男子)

私は窓ふきをしました。中学校の活動なのに、地域の方も一緒に掃除をしてくれてうれしかったです。地域の方の優しさを感じました。私も地域のためにできることを考えて実行する人になりたいと思いました。(2年女子)



### 知 柄

活動内容：知柄会館内の清掃，西浦公民館内外の清掃  
参 加 者：生徒25名，知柄総代，常会長ほか

清掃をやっていると、公民館の方や通りがかりの人たちに「ありがとう，がんばってね」など感謝の気持ちを言われてとてもうれしかったです。(3年男子)

知柄会館は昔から使わせてもらっているので、清掃活動を通して感謝の気持ちを伝えることができましたと思います。(3年女子)



## 稲 生

活動内容：稲生会館内外の清掃

参加者：生徒 11 名，稲生総代，常会長ほか

稲生会館では，部屋の隅々まで雑巾でふいたり，新聞をぬらして畳の上に並べておいたり，工夫して掃除しました。普段は地域との関わりがあまりないけれど，今回，地域のために掃除ができて良かったです。これから地域との関わりがあるときは，何事にも全力で取り組んでいきたいと思いました。

(2年女子)



## 馬 場

活動内容：愛宕会館内外の清掃，馬相公園の清掃，西浦駅の清掃

参加者：生徒 31 名，馬場総代，常会長ほか

私は馬場公園の掃除をしました。小さい子供がよく遊びにくるので，草を抜いたり砂場の土を掘り返したりしてがんばりました。

(2年女子)

私は西浦駅の清掃を行いました。来年からは高校生になって毎日駅を利用します。そんな地域になくてはならない場所を自分の手で掃除できて良かったです。

(3年女子)



## 竜 田

活動内容：知柄漁港のごみ拾い，にしうら児童館の清掃

参加者：生徒 42 名，竜田総代，常会長，児童館長ほか

竜田海岸には大量のごみが捨てられていて，心が痛みました。

(1年女子)

はあとぷろじえくとをやる前は，ごみが落ちていても拾う気になりませんでした。でも，今は西浦をもっときれいにしたいなと思います。

(2年男子)

今回の活動を通して，西浦町と中学生がひとつにつながったのではないかと思います。いつまでもきれいな西浦町を保つために来年もやりたいと思いました。

(2年女子)



## <西浦小学校 ふれあい活動>

学校の北側にある「きじっ子の森」再生と清掃を実施した。一昨年度からPTAの協力を得て、「きじっ子の森」を再生し、子どもたちや地域の方たちに有効に活用してもらおうと、整備を始めた。大きな木が倒れかかっている危険であったが、撤去してもらい、安全に入れるようになった。

また、全学年が、総合・生活科の学習で、地域に出かけ「西浦」の学習をした。

**4年生(38名)** 11月19日(金)に、市の環境 清掃課の企画により、「森と海の世界講演会」を開催した。アウトドア派タレントの鉄崎幹人氏を講師として呼び、「森が育む三河湾」についての話を聞いた。海の生き物クイズをまじえながら、干潟の大切さや「豊かな海は森が作る」ことを教えていただいた。

「豊かな海にする」と「きれいな海にする」ことの違いについて子どもたちに問われた。現在蒲郡のアサリが激減しているのは蒲郡の海に栄養素が少ないことや、山や川からの栄養が行き届かないからということを知った。西浦の海の大

切さに改めて気付いた子どもたちは、西浦の海をきれいにしたいと考えた。11月25日(木)に「くじ海岸」の清掃を行った。拾ったごみの多さに驚き、分別をして、これらのごみを減らすにはどうしたらよいかを考えた。



**6年生(46名)** 「町・海の魅力を楽しむ・広めたい。そのために観光地をきれいにしたい」との思いをもった子どもたちは、11月19日(金)の総合の時間に竜田海岸の清掃へ出かけた。浜は一見、流木だけのゴミしかないと思っていたが、岩や堤防の隙間等からペットボトルや発泡スチロール、ビニール、ロープ等が、たくさん出てきた。あまりの多さに驚きながらも、時間内にこれらをすべて回収したいという思いから、黙々とゴミ回収に没頭した。海岸清掃中、海に浮かぶ巡視艇から「皆さん、海岸清掃ご苦労様です！」と呼びかけがあった。とっても嬉しいサプライズとなった。



**全校児童(212名) P T A (5名)**

11月12日(金)には、全校で「縦割り焼き芋の会」を行った。地域の工務店さんから薪をいただき、P T Aの方たちによる火の管理のおかげで、上手に焼くことができた。焼いている時間に、縦割り班の仲間とレクリエーションをし、収穫した芋のおいしさを味わった。





## 令和3年度 健全育成協議会並びにふれあい活動のまとめ

### 1 健全育成協議会・準備運営委員会等について

本年度も感染症対策のため、例年5月を中心に行われる健全育成協議会は開催規模の縮小や、紙上開催という形での実施となった。

協議会は、本年度の地区健全育成協議会の活動方針、委託料予算の審議に続いて、それぞれの地区の青少年の生活状況や危険箇所に関する情報交換、本年度のふれあい活動について話し合うという流れとなっている。中学校区の多くの地域の大人たちが一堂に会することから、近年では避難所開設員の紹介をすることもあった。このような青少年についての情報交換が十分に行うことができなかつたことは、青少年健全育成において大きな損失であり、今後の活動の中で取り返していくことが期待される。

### 2 地域ふれあい活動について

地域ふれあい活動の内容を検討する協議会が紙上開催となり、三密を避ける行動パターンが求められる中、本年度の地域ふれあい活動は、規模を縮小したり、延期したり、今までと内容を変えたりなど、様々な工夫をして実施された。しかし、行事運営の中心を高齢者が担うような地区では、感染の心配から中止せざるを得なかつたこともあり、本年度の活動は昨年度と同様、規模の小さなものとなった。

ここ数年中学生の参加率が高く、多くの会場で中学生が中心となって活躍する姿が見られる。ふれあい活動の準備会に中学生を参加させ、様々な意見を求めたり、開催準備のための仕事を任せたりする地区が多くなってきた。こうした地域の大人たちの配慮や期待が、中学生に自己有用感や地区への帰属意識を育み、健全育成に大きな効果がもたらされている。

「ミニ集会」からスタートし、現在の「ふれあい活動」のような形に移り変わり始めて20年以上経つ。地域の重要な行事として位置づけ開催している地区も多い。これも総代を中心にふれあい活動の意義を十分認識し、開催に向けてのリーダーシップをとってしてくれるからこそである。青少年の健全育成を目的にこうしたふれあい活動が開催されている市は、他に聞かない。開催にむけて関係者には開催経費等、様々な負担をかけていると思うが、蒲郡市の特色の一つとして、今後も継続して開催されていくことを切に願う。



## Ⅲ 令和3年度 補 導 員 活 動

### 1 補導員全体会

4月21日（金）午後、市民会館東ホールで補導員全体会を実施した。地区別打ち合わせ会は密を避けるため4つの会議室に分かれて実施した。補導員を永く務め退任

された下記の方へ感謝状をお届けした。

市長感謝状 尾崎裕己氏（10年6ヶ月 西浦班）

## 2 班長会

4月21日(金)の第1回班長会で、昨年度に引き続き代表に形原班班長寺元幸治氏  
が選出された。

## 3 校外補導部会

各小中高等学校の校務主任、生徒指導主事等で任にあたっていただく校外補導部会  
である。昨年度より各地区の班長を交えて実施することとなった（7月、9月、2月）  
が、感染防止のため、7月、9月の会議に各地区の班長は出席しなくてもよいこととし  
た。校外補導部会は7月9日(金)、9月3日(金)、11月10日(水)、2月2日(金)の4  
回実施された。9月の会はオンラインで行った。各学校の児童・生徒の生活状況等につ  
いて情報交換した。非行問題が少なくなる中、今後の補導のあり方について検討を重  
ねた。

## 4 補導活動実施状況(1月14日現在 提出済みの実施報告書の数を記載)

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
街頭 補導	回数(回)	38	13	12	46	18	31	11	30	14			
	活動委員延べ人数(人)	68	29	30	80	32	45	29	46	25			
	補導件数(件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0			

中学校区ごとにいる地域補導員、校外補導員が合同で、月1回～2回程度、校区内  
の大型店やゲームセンター、危険個所等を巡回し、補導にあたる「合同補導」を実施  
している（緊急事態宣言下では中止とした）。本年度も蒲郡警察署生活安全課の意向  
により、蒲郡警察署が委嘱している25名の少年補導委員もそれぞれの地区の補導に  
参加している。補導員が駅に立ち、声かけ運動をしている地区もあり、青少年との交  
流が非行防止に大きく役立っている。また、例年では盆踊りや祭礼時には、ほとん  
どの地区で補導員による巡回指導が行われていたが、昨年度に引き続き、本年度もこれ  
らの行事のほとんどが中止となってしまった。

## 5 夏休みPTA特別補導

昨年度は新型コロナウイルス感染防止のための臨時休校の影響で夏休みが短縮さ  
れたため実施することができなかったが、本年度よりPTA特別補導を当面の間休止  
することとした。

## IV 令和3年度 地域安全・青少年健全育成市民大会

主催 蒲郡市青少年問題協議会  
 共催 蒲郡警察署・蒲郡防犯協会連合会・蒲郡市総代連合会  
 蒲郡市青少年センター補導員会・蒲郡少年補導委員会  
 蒲郡市生徒指導研究推進委員会  
 社会を明るくする運動蒲郡市実施委員会

10月27日(水)に蒲郡市民会館中ホールで開催を予定していた「令和3年度 地域安全・青少年健全育成市民大会」については、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染防止を図るため、イベントを取り止めとした。

一方で、意見発表作文とポスターの募集、ポスターの審査は例年通り行った。小中学生と高校生による意見発表会を無観客で実施し、その様子を三河湾ネットワークの番組で放送していただいた。意見発表会を収録したDVDと大会要項冊子に関係諸団体等へ配布、また、動画を市の公式YouTubeへ掲載し、大会開催にかえた。なお、意見発表の作文を大会要項冊子に掲載したため本誌への掲載はない。ポスター応募作品はすべて、蒲郡駅構内のナビテラスで展示した。

健全育成功労者の表彰・披露については本年度も見送ることとした。

### <意見発表会収録日>

日時 令和3年10月3日(日)  
 前半の部 9時20分より  
 後半の部 10時20分より  
 場所 蒲郡市生命の海科学館

### 意見発表者

大塚小学校6年	吉田昂平
形原北小学校6年	西浦果歩
西浦中学校3年	山崎天翔
形原中学校3年	三浦颯太
塩津中学校3年	坂上実優
蒲郡中学校3年	小林美陽
中部中学校3年	鈴木暖々果
三谷中学校3年	小林芹奈
大塚中学校3年	高橋陽菜
蒲郡高等学校2年	平賀大夢
蒲郡東高等学校2年	小林優月
三谷水産高等学校3年	請井佑南

### 優秀ポスター入賞者

市長賞	大塚中学校3年	水山果凜
警察署長賞	蒲郡東高等学校1年	山本惺太郎
防犯協会連合会長賞		
	中部中学校3年	和久田莉奈
蒲郡保護区保護司会長賞		
	塩津中学校3年	三浦拓久
入選	蒲郡中学校2年	宮田晴矢
入選	三谷中学校3年	長澤 累
入選	形原中学校1年	河合依蓮
入選	西浦中学校1年	岡田 梓
入選	蒲郡高等学校1年	新川 彩
入選	三谷水産高等学校2年	福井啓介



**小学校作文入賞者**

蒲南小 6年 澤幡 英祐	三谷小 6年 迫田 耕作	形原北小 6年 成田 陽音
蒲南小 5年 坂部 遼太	塩津小 6年 野上 駿斗	中央小 6年 割鞘 蔵太
蒲東小 6年 武市 瑛達	塩津小 6年 石川 真瑚	中央小 6年 松永 瑚亜
蒲東小 6年 河井 梓	大塚小 6年 柴谷 蒼太	三谷東小 6年 横手ケンジ
蒲北小 6年 本多 智葉	形原小 6年 稲吉 兼士	三谷東小 6年 白井 杏実
蒲北小 6年 岡崎 紗綾	形原小 6年 三田 心結	竹島小 6年 小川 杏
蒲西小 6年 山本 愛結	西浦小 6年 渡辺 智也	竹島小 6年 岡田 茉希
三谷小 6年 日置 柚菜	西浦小 6年 小田 実咲	

**大会宣言**

新型コロナウイルス感染拡大防止のワクチン接種が随分進みましたが、以前の生活にすべて戻ることはなかなか難しい状況です。新しい生活様式の中で、本市の児童生徒や青少年がいつそう明るく健やかに成長することができ、事件や事故のない安全で安心して暮らせる住みよい街づくりは、私たち市民共通の願いです。

現状、市内の小中学校・高等学校における児童生徒らの問題行動は極めて少なく、落ち着いて実りある教育活動が展開されています。礼儀やマナーの良い児童生徒も増えてきたと感じます。

一方で、インターネットやSNSの普及により、便利な社会になったものの、SNSによる誹謗中傷・なりすまし被害・性被害・不適切動画掲載などが増え、犯罪の多様化・低年齢化が進んでいます。さらには、不登校や引きこもりの数も依然として増えつつあります。本市においてもこうした傾向が顕著になっています。

また昨今は、空き巣などの住宅をねらった侵入盗をはじめ、自転車盗や車上ねらい等の犯罪が多く発生していますし、特殊詐欺被害も高齢者に限らず、いまだ後を絶ちません。

こうした中で、私たちは地域・家庭・学校・関係諸機関がこれまで以上に一体となり、相互の絆を強く確かなものにし、未来を担う青少年の健全な育成に努め、安全・安心で明るく住みよい社会をつくっていかねばなりません。

本年度も紙面をもっての大会となりますが、私たち一人ひとりが「犯罪や事故にあわない」「犯罪や事故を起こさせない」「犯罪を見逃さない」を合言葉に、誇りと熱意をもって、地域安全・犯罪防止・交通事故防止・青少年の健全育成活動に取り組んでいくことを、ここに宣言します。

令和3年10月27日      令和3年度 地域安全・青少年健全育成市民大会



**V 蒲郡市子ども・若者支援ネットワーク協議会の活動報告**

**1 本年度のネットワーク協議会の活動**

(1) 代表者会議 6/14 (紙面開催)

- ・ R2 年度活動報告、R3 年度活動方針・計画等の提案
- (2) 実務者会議 6/14 (紙面開催)、11/29 (8/23 は中止)
  - ・ 相談窓口の利用状況と今後の課題
  - ・ 重層的支援体制整備事業について (福祉課)
- (3) 一般社団法人「東三河セーフティネット」との連携を密にした。
- (4) 「子ども・若者相談窓口」を市民に案内
  - ・ 広報「がまごおり」掲載、改訂版リーフレットを作成し、市民への周知を図った。
  - ・ 小中学校を訪問したり、各地区民生委員会議に出席したりして、相談窓口設置についての周知を図った。
  - ・ 歯科医師会へリーフレットを配布した。
- (5) 市内 7 中学校とサポートステーションとの連携強化
 

中学卒業時に進路未定の生徒に対し、相談窓口と各中学校と連携を図りつつ、サポートステーションが継続して支援ができる体制を継続した。
- (6) オンライン・メール相談ができる環境を整備
 

ZOOM 相談 0 件、メール相談 19 件 (令和 4 年 1 月 14 日現在)
- (7) 他市との連携・情報交換
 

豊橋市、豊川市、田原市との連携を継続し、情報交換を密にした。また、県との連携も積極的に行った。

## 2 子ども若者相談窓口の相談件数 (令和 4 年 1 月 14 日現在)

### ○月別相談件数

年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
2	55	44	58	48	57	41	28	32	37	42	35	32	512
3	57	26	39	44	11	40	56	42	25	26			366

### ○実人数 (年齢・性別)

年度	小	中	高	大・専	15~19	20~29	30~39	40~	計	男	女	新規	継続
2	3	10	8	4	2	5	8	1	41	32	9	25	16
3	5	11	1	0	1	7	9	3	37	27	10	19	18

### ○主な相談内容

年度	親子関係	虐待・暴力	不登校	学業・進路	ひきこもり	発達障害	生活支援	就労支援	その他	合計
2	3	1	14	3	8	1	1	3	7	41
3	3	0	13	3	11	2	0	1	4	37

令和2年8月よりオンライン相談を始めます



# 蒲郡市子ども・若者相談窓口

## 子ども・若者相談窓口って

自立に困難を抱える子ども・若者一人一人に寄り添い、適切な支援・相談機関の紹介、情報の提供や助言を行う蒲郡市の機関です。

ニート・ひきこもり、不登校、非行に関する困りごとやいじめなど様々な困難に対して、必要に応じて、教育、福祉、雇用など各分野に支援を依頼し、就労・就学に結びつくような対応に努めます。

## どんな相談ができる

「就労・就学の不安」「対人関係」「生き方の不安」などの悩み、「不登校」「高校・大学の中退」「ニート」「ひきこもり」「非行に関する困りごと」や「いじめ」など、どんな相談でもお受けします。

## 誰でも相談に乗ってもらえる

蒲郡市に在住、在学のおおむね40歳未満の方が対象です。(小中学生、高校生、大学生も対象です) **相談は無料です。**

本人、ご家族、親戚、学校、地域の支援団体など、どなたからの相談にも応じます。

## どのような機関が支援してくれる

お話を伺う中で、他機関を紹介したり、連携して支援する場合があります。

支援の中核となる機関は、がまごおり若者サポートステーションで、就労に向けて、仕事体験、各種セミナー等を実施しています。

また、東三河セーフティネットの家族環境支援士による支援も可能です。

その他、子ども・若者支援ネットワーク協議会に参加している、福祉、保健、教育、雇用等の公的機関・民間機関が支援を担当します。

## 相談方法

窓口での面談、訪問相談、電話相談のほか、メール相談、Zoomを使ったオンライン相談も始めました。

## <相談日・相談時間>

毎週月・水・木・金曜日 午前9時～午後4時まで  
(上記以外の曜日と祝日並びに年末年始は、休み)

## <所在地>

愛知県蒲郡市港町17番17号

蒲郡市<sup>いのち</sup>生命の海科学館1階

## <相談申込先>

電話 0533-95-3100

または、あいち蒲郡市電子申請・届出システム  
(上記QRコードを読み取ると、下記のアドレスにつながります)

[https://www.shinsei.e-aichi.jp/city-gamagori-aichi-u/offer/offerList\\_detail.action?tempSeq=23661](https://www.shinsei.e-aichi.jp/city-gamagori-aichi-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=23661)

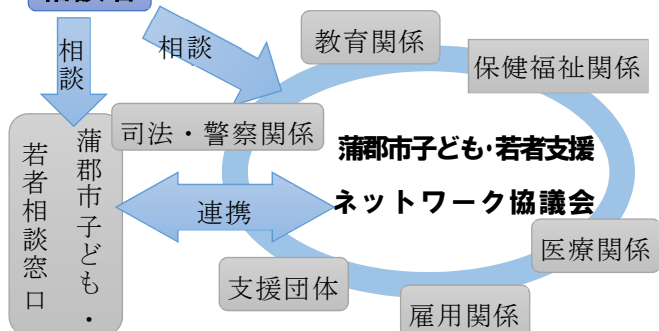
※ 蒲郡市子ども・若者相談窓口は、蒲郡市教育委員会生涯学習課青少年センターが運営しています。

※ 生命の海科学館は火曜日が休館日となっています。

※ 当相談窓口から電話をかけると、青少年センターの電話番号(0533-66-1168)が表示される場合があります。あらかじめご了承ください。



## 相談者



## 【おわりに】

### 「 家族の対話を！ 」

本年度 11 月、県内尾張地方の中学校で、中学 3 年生が同級生に刺されて命をなくす事件が起きました。痛ましい惨劇に未だショックを隠し切れません。

当事者でなければ、その心のうちは図り知れませんが、私個人が公にコメントすべきことではありません。それでも、事件当初にマスコミで報道されていた加害少年の動機と思われる供述のひとつひとつは、当事者でない我々には「そんなことくらいで、そこまで……」と思うようなところもありました。

あわせて、学校や家庭でも、これからは同じようなことがいつ起こってもおかしくないと思うと、恐ろしい気持ちにもなります。

「内にこもる」ことなく、思いを言葉や態度で伝えあえる人間関係をつくっていくことが、これから先、特に必要だと今さらながらに思います。

市内の中学校の生徒指導主事の先生方を前にした前警察署長の講話の中にも、こんな話がありました。

「犯罪者の多くに共通するのは、家族の誕生日や年齢を言えない。また、親の職業を知らない。知っていても『車関係？』くらいしか言えない。要は、家族間での対話が少なく、親や家族の誕生日を祝う気持ちや親や家族を互いに敬う気持ちが希薄だったこと。対話をし、互いを敬う気持ちがあるってことが、普通の家族を形成するし、社会づくりの礎をつくる。それが実は犯罪防止に大いにつながる。」

あなたは家族の誕生日を知っていますか？特別な日を家族で祝っていますか？  
あなたの子供はあなたの職業や働いている様子を知っていますか？  
あなたは子供の声を聴いていますか？ 対話がありますか？

今の時代、同じ家に居ながら、互いにスマホアプリの LINE の画面上でしかやりとりしない家族もあるようです。びっくりですけど現実です。

子どもたちが「内にこもる」ことは、心のうちを吐露して聞いてもらえる場や、アドバイスしてくれる家族や仲間を放棄してしまうことにもなりかねません。ゲームの世界のように、ちょっと躓いたらリセット。とにかく相手をやっつける。そんな世界観だけが増長し、気に入らないことや心のもやもやの処理が不適切となっていきます。

子どもたち諸君、時には一人で居たい、そんな時もあるのでしょうけれど、「内(家)にこもって」ばかりじゃなくて、外で遊ぼう。家族や仲間と対話しよう。心の内を聞いてくれる大切な人が一人でもいれば良い。子どもたちが、外でゲーム機など使わずに身体じゅう動かして、五感や頭を働かせて遊ぶことを大人たちは推奨しましょう。お腹をすかして帰宅した時、親も子もスマホを手を持たずに、家族で食べる夕食がとってもおいしいはず。対話はこうした中から生まれます。

幸い本市では本年度も青少年の非行や問題行動で大きな事件になるようなことは皆無でしたし、非行や問題行動数も年々減少しており、良好です。この一年間関係の皆様方にご尽力いただき深く感謝いたします。いつ何時、冒頭に挙げたような悲しい事件が生じないように、これからも「はい・ありがとう・すみません」をはじめとした挨拶が飛び交い、対話の多い家庭や街をつくっていきましょう。

### ＜表紙のマーク＞

平成 22 年度一般公募により決定した蒲郡市青少年健全育成地域活動のシンボルマークです。

水色は蒲郡の美しい海、オレンジは若さ明るさをイメージし、「地域の人々の手で明るく青少年を守ろう」のコンセプトで作成されています。

発行日	令和 4 年 2 月 1 日
発行	蒲郡市教育委員会
編集・印刷	蒲郡市青少年センター
〒443-0034 愛知県蒲郡市港町 17-17	
生命の海科学館内	
電話 0533-66-1168	
製本	親和原田プリント(株)